



荒井選手(CMSC_{群馬})オールスターダートラ制す!! ランサーエボリューション、の高い戦闘力を実証。 '92全日本ダートトライアル選手権最終戦(AIVクラス)

'92全日本ダートトライアル選手権の第8戦、AIVクラスに、三菱のモータースポーツ分野での主力車種と注目される「三菱ランサーSRエボリューション」5台がデビューしました。WRC(世界ラリー選手権)参戦を照準に「走る・曲がる・止まる」という車本来の機能を純粋に進化させた、高性能スポーツセダンというだけあって、強力な加速力など「ラリーに勝つための車」としての底力を見せつけてくれた「ランサーSRエボリューション」。その250PSを誇るハイパワーと、スパルインプレッサ240PSとの対決が注

目されていましたが、CMSC群馬の荒井信介選手が、ランサーエボリューションを駆って見事優勝の栄冠を勝ち取りました。

今回の大会は、「オールスター」の名の通り、ダートラ界のスタードライバー達が年に一度勢揃いして腕を競い合う「ダートラ日本一決定戦」。出場選手は全日本選手権シリーズの各クラス上位8名と、全国8ブロックの地区選手権の各クラス上位2名のみで「選ばれし者達の祭典」と言われています。そういう大会でデビュー戦を飾ったことで、「ランサーエボ

リューション強し!」という印象が、より鮮烈にギャラリーの胸に焼き付いたようでした。

華麗なデビューが、今後様々な競技での活躍を予感させるランサーエボリューション。実際、'93年シーズンからは同車をベースに開発中のグループAラリー仕様車でWRCに参戦し、ケネス・エリクソンとアーミン・シュワルツをドライバーに擁する「ラリーアート・ヨーロッパ」と篠塚建次郎をドライバーに擁する「ラリーアート・ジャパン」の2チーム体制で挑むことが、既に決定しています。

会員の皆様の よりいっそうのご活躍を

あけましておめでとうございます

CMSCが発足して既に30年余。その間、モータースポーツを愛する者達の集まりとして順調に発展し続けて参りました。既に、全国に16支部6,000余名のメンバーを擁する大組織となったいま。会員の皆様には、今後もCMSC会員であるというプライドを大切にいただきたいと思いますと同時に、これまで会

の発展をずっと支え続けて下さいましたことを、いままさらながら厚く感謝致したいと存じます。

さて、会員の方々にとって、昨年はどう的一年でしたでしょうか。年頭にあたりまして、皆様それぞれに昨年を振り返って感じる事、新しい年に対する期待や希望など、様々な思いがあたりだと想像致します。わがCMSCにとりましては、'92年はなかなか充実した一年であったのではないのでしょうか。夏の全国大会には、全国から総勢約200名が集まり、恒例のジムカーナや懇親パーティなどを通じて

互いに交流を深めました。また、各種競技会等ではクラブ員の活躍ぶりと、上位入賞の嬉しい知らせが続々と聞こえてきました。各支部で行われる。主催大会は、一般参加者が増えて年々盛大になってきていますし、着実にモータースポーツの普及に貢献し続けていると自負しております。

最後になりましたが、会員の皆様がさらにいっそうご活躍されることを、あらためてお祈り申し上げます。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

(CMSC会長 外川一雄)

ランサーエボリューションがくれた栄冠

'92全日本ダートトライアル選手権 第8戦参戦記
CMSC群馬 荒井信介

さる11月14、15日、オールスターダートトライアル'92 in HiRoShiMaが行われました。両日共まずまずのダート日和。会場には数千人の観客が押し寄せて。ダートラ観戦を楽しんでいるようでした。

私は、AIVクラスに出場。ゼッケン102番をつけ、ランサーエボリューションでは初めて、全日本戦に挑んだのです。タイムは、ギャランと同等以上は出せると思っていたのですが、まだ足回りがよく決まっていなかったりや乗り慣れていないことなどから不安

な気持ちを隠せないまま、パワー全開で行くしかない自分自身に言い聞かせて臨みました。1トライめ、ギャラン、バルサー、インプレッサ、ランサー等、1分58秒前後のタイムで競技は進行。私はコースを頭の中にたたき込み、後は踏むだけ、とスタートしました。思ったより前にで、その勢いのまま各コーナーをどうにかクリア、最終コーナーをサイドターンでゴール結果は1分55秒07と、他を1秒以上も引きはなす好タイムとなりました。

翌15日の2トライめ、私は、1本めよりミスは少なくすればタイムは上がるはずだと、ランサーで懸命にふんばりました。少しとはいえタイムは上がり、

私は、2日間共に一位をキープ。本当に嬉しいオールスター初優勝となりました。ラリーアート、ヨコハマタイヤ、KYB、キャロッセ、群馬三菱など、スポンサー各位のご協力もいただいたことで、ランサーエボリューションのデビュー・ウィンを飾ることができ、シリーズも3位に上昇し、シード権も獲得でき、本当に感謝致しております。

来年も、ランサーエボリューションで全日本戦を頑張りますので、応援の方よろしくお願ひします。



感激の初優勝。荒井信介選手

悔いを残さない走りに徹してベストラップ

オールスターダートトライアル参戦記
CMSC群馬 大井 こそる

「オールスターダートトライアル」この大会に出場するために1年間戦ってきた。プレッシャーやマシントラブル……そんな中でやっと手にした関東代表だった決して簡単に得られた出場権ではない。たかが「レディスクラス」かも知れないが、私にとってオールスターはやはり憧れであり、夢であり、目標でもある。今年で4度目のオールスター出場であるが、昨年の悔しい思いだけは絶対にすままいと思ひ、ミス恐れず自分の持てる力をすべて出し切るドライビングをしよう決めていった。

1本めこれから走るコースを思い浮かべながら、「大丈夫、私はできる。悔いだけは残さない」と自分自身に言い聞かせる。1トライスタート。コース

前半は満足のいく走りだったが、後半は狭い林道セクションでスピンしてしまった。幸い車へのダメージは少なかった。とりあえずの走りでも何とかゴール。それでもタイムは、ライバルたちのミスも手伝ってひとまずベストラップそれを聞いて少し変な感じになり、余計プレッシャーが強くなった。

1日おいての2トライめは、朝8時からの出走。スタートフラッグが振られたが、体が固くなって、思ったようにコーナリングできない。林道セクションにさしかかると、昨日のスピンした記憶が一瞬頭をよぎった。が、乗り慣れたギャランはわきあがる恐怖心をカバーしてくれ、私の思うように走ってくれた。おかげでタイムはベストラップ。嬉しかった。今年1年の苦労はすべてこの瞬間の為だったと思うと、本当に嬉しかった。みんなもよろこんでくれている。ギャランに最後の金メダルをあげるこ

とができて本当に良かった。オールスターダートトライアルという大舞台で、自分は少しだけ他のドライバーよりもリラックスして走れたのだと思う。

今まで、私を支えてきてくれたたくさんの人たちのお陰で自分はここまでくることができたのだと、いつも思っている。感謝の念をずっと大切にしながら、来シーズンからは新しくランサーに乗り換え、また新たな気持ちで頑張って走り続けていきたい。

一年分の一瞬が輝いた大井こそる選手



反省点を謙虚に受け止め、今後に備えたい

'92オールスターダートトライアル参戦記
CMSC山形 菅野 茂

'92オールスターダートトライアルが、広島市のテクニックステージカタで開催されました。実はオールスター出場が決まってから、乗り慣れたギャランにするか、2本ランサーRSにするかで随分悩みました。当クラブの小川会長には、ランサーRSは足回りなどまだ(CD5 A用しか)出していないため、ギャランで行くように言われましたが私としては初めてのオールスターなので新型車で行きたいと思ひ、無理に頼み込んでランサーRSに決めました。それからが

大変で、ローラー、スプリング(CD5 A用)を早急に組み、車検を終えたのが11月6日、この後全ての部品を組み終えたのが9日で、練習もほとんどしないままに当日を迎えてしまいました。

今回は、1本めが14日、2本めが15日というちょっと変則的なイベントで、やはり不慣れなせいか、1本めは失敗(リアバンパー墜落)もありました。それでも何とかまずまずのタイムで終え、翌15日、2本めの走行を行いました。ところが、走り方が1本めとまるっきり違ってしまう、タイムアップすることができなかったのです。(1本めが強オーバーステアだったので、2本めはリアタイヤを新品にし、ア

プローチを一呼吸手前と考えていましたが、緊張感からイメージ通りの走りが出来ませんでした。)結果として悔いの残る試合になってしまいましたが、今回の反省点は、今後にしっかり活かしていきます。



残念。次回の巻返しを誓う菅野茂選手

'93年、三菱車が大いに活躍しそうな気配

CMSC山形

東北ジムカーナシリーズ第9戦

9月15日

9月15日、東北ジムカーナシリーズの第9戦を開催しました。今回で地区戦も2回めとなりまして、我々オフィシャルとしても昨年の失敗を繰り返さないようにと、前もって特にしっかりと準備しました。今年に入って競技会が多すぎるのか、台数的にも昨年を下回っているような感がありまして、それが多少心配でしたが、昨年と同じ約100台の出走となり安心しました。場所は昨年と同じ蔵王リゾートサーキットを使用、各エントラントの熱い戦いを期待して、コースはテクニカルな設定としました。当日は天候

も小雨のち晴れとなかなかのコンディション。事故もなく、最終ゼッケンまで、無事大会を修了することができました。

東北地方のジムカーナーでは三菱車のエントリーが大変少なく、今回もA-3クラスでミラージュサイボーグが3台、ギャランVR-4が1台、C-3クラスでミラージュが1台というところで、計5台のみでした。しかし、今年より「ランサーエポリューション」と「ミラージュMIVEC」が発表されたことを受け、ジムカーナーでも多数エントリーし、大いに活躍しそうな気配です。'93年も、地区戦と県シリーズを開催し、チャレンジカップにおいても、クラブ員一同頑張っていきたいと思います。

(CMSC山形 菅野 茂)



全員一丸となってオフィシャルに競技にと大活躍のクラブ員



今年こそ、四国で初のダートラ全日本戦を

CMSC香川

全日本ダートトライアル

'9310月10日 (予定)

苦節?年やっと四国で、ダートラ全日本戦を開催できることになりました。何故、今まで四国地区

だけ全日本戦が開催されなかったかといいますが、オーガナイズするクラブの問題ではなく、場所がなかったからなのです。現在四国において地方戦を開催している所は、香川の香川スポーツランドと高知の特設場の2箇所のみ。どちらも全日本戦を開催するにはスペースが足りず、今まで開催できなかった

というわけです。しかし、当クラブの六車が四国でも何とか全日本戦をと考え、懸命に場所を探すこと約1年、やっと県所有の土地が借りられる見込みができました。日程は93年10月10日の予定です。皆様の御支援、御協力をどうぞよろしくお願い致します。

(CMSC香川 白井 修)

タイムより、見せる走りが目立った今大会

CMSC帯広

秋の大運動会トライアル

10月18日

'92年のダート・トライアルの走り納めとジンギスカン・パーティを目的とした、恒例の秋の大運動会トライアル。天候にも恵まれた気持ちのよい秋晴れ

の中、エントラント全員に賞品も用意して、とても楽しい雰囲気の中に無事競技を終えることができました。クローズド競技にもかかわらず、遠く札幌からのエントラントもあった今大会では、何故かいつもより若い女性のギャラリーが多く、参加者はどうも、タイムよりも見せる走りに徹していたような、いいような。表彰式を兼ねたジンギスカンパーティ

ィでは、ギャラリーも一緒に参加して、あちこちでかなり盛り上がっていました。結果の方ですが、三菱賞は、若手の馬淵ランサーが総合ベストラップを奪う走りでも1位。続いて、大会前の練習で頭を5針縫った小林ランサーがキレた走りでも2位、ダイエットに成功した。伊吹ランサーが3位に入りました。

(CMSC帯広 伊吹 浩明)



左からAIV 4位井向選手、AIII 6位柏木選手、AIV 5位斉藤選手の健闘ぶり。右は三菱賞1位馬淵選手(右)2位小林選手(中)伊吹選手(左)

'92ジムカーナーシリーズ4戦を振り返って

CMSC青森

'92ジムカーナーシリーズ

年4戦

1990年から始めたCMSCジムカーナーシリーズ戦も3年目を無事終了。年々エントリー台数も増え、盛会となってきている。オーガナイズは当CMSC青森ジムカーナー部会が主体となり、ラリー部会の協力のもとで開催。主にモータースポーツ入門編として初心者クラスを対象に行っているが、中には東北のトップクラスの選手も参加、それによってレベルアップを図っている。競技会は毎回天候にも恵まれ、スムーズな競技運営もエントラントやギャラリーから好評を得ている。また、シリーズ戦終了後はシリ

ーズ表彰も行うなど、エントラントとオフィシャル、スポンサーとの交流を深め、ジムカーナの発展とクラブの士気高揚に大いに活躍しているところである。ジムカーナシリーズは、次年度も続けて開催予定でありますので、今後もCMSCのメンバーの皆様の御支援をどうぞよろしくお願い致します。

(CMSC青森 小館 久)

▼P.S 全国のCMSCの皆さんへ
CMSCジャーナル Vol.12.15.17.18を余分にお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ譲って下さい。
連絡先: CMSC青森会長 鶴ヶ谷 慶市
〒036-13 青森県中津軽郡岩木町賀田1-15-2
TEL: 0172-82-2005 FAX: 0172-82-5545

コース説明する小館ジムカーナ部会長▼



▲会長のお嬢様も助っ人に駆けつけた。(右から3人目)

無事終了した大会後に、激走が展開されて!?

CMSC島根

92CMSCジムカーナ

8月30日



イベント当日は必ず晴れるのが通例。CMSC島根のジムカーナもこれで4回目を迎えました。今年もグットコンディションのもと、岡山県の備北ハイランドパークで開催しました。

天候には恵まれたものの、最近、ジムカーナ人口が減少に向いつつある中、前回140台を数えたエントリーが今回はなんと60余台。多少、拍子抜けする感もありましたが、地区戦優勝・上位入賞経験者も多数参加し、見応えのあるタイム争いが展開されま

した。豊富なオフィシャル陣に支えられ大会はスムーズに進行しましたが、実は本日の目玉は大会終了後だったのです! 数少ない商品の残りをめぐって、新クラブ員歓迎CMSC対抗ミニ大会を急遽開催。みな物欲に燃えて? 激走を展開し、各人心ゆくまで走り込みました。

ところで'93シーズンA(C)IIクラスは、ミラージュMIVECの活躍が期待できそうで楽しみです! (CMSC島根 古藤 浩美)

一喜一憂に湧いたエントリーの熱い戦い

CMSC仙台

もみじ狩りダートトライアル'92

9月27日



東北各地から紅葉の頼りが聞こえ始めた9月27日、CMSC仙台主催の「CMSC仙台 もみじ狩りダートトライアル'92」が開催された。天気の方は、曇り時々雨、ダート好きのお天道さまが時折顔を出すと言う何とも複雑な空模様。路面状況の変化がかなり心配されていた。そんな中、エントリーの熱い戦いの火ぶたが切って落とされ、慣熟走行の後、1号車から順にスタート。コースは外周から、見せ場となる内周へむかう。内周にはビデオカメラが設置されていることも手伝って、どのドライバーの右足にも

つつい力が入っているようだ。昼食時に豚汁が振舞われた後、2本めへ。トラブルもなく無事に競技は終わり、結果発表までのひとときはビンゴゲームで盛り上がる。エントリー達は一喜一憂の一日を大いに楽しんだようだ。

結果はA Iがミニカを駆る斎藤賢司選手、激戦のA IVは佐藤秀昭選手のランサーが、8の字ターン、フルターンをうまくまとめて優勝した。 (CMSC仙台 永沼 憲夫)

今年こそCMSC千葉の名を轟かせたい

CMSC千葉

平成4年には、全日本級の勅使川原さん、丹波さん、三谷さん、鶴岡さん、手塚さん等、有力な方々が入会され、クラブポイント上では他のクラブに負けないくらいの成績を残せるようになりました。そ

の他有力な方々が次々と入会して下さっていますので、今年は気持ちも新たにしっかりとクラブの運営にあたりたいと考えます。来年は、新型ランサー(エポリューションモデル)を駆ってクラブ員が数多くイベントに参加する予定ですので、ぜひCMSC千葉の名を全国に轟かせ、覚えてもらいたいと張り切っています。どうぞよろしくお願い致します。

(CMSC千葉 右近 忠)



'93年の活躍に期待!

山形の独走か! 終盤へ向けてラストスパート

依然トップは、山形。終盤を迎える段階になってさらにリードを広げています。2位、3位争いも熾烈でじわりじわりと2位の青森に、3位の群馬が迫っています。また、突然ではありますが福島も躍進

ぶりには驚かされます。ほんのちょっと集計が遅れたために、皆さんを驚かすことになりましたが、しっかり得点を稼いでいました。(皆さん、集計は早め確実に報告しましょう、一編集部より) 各個人部

門では、ラリードライバー部門の鷲見選手、ダートトライアル部門の宝田選手、レース部門の小川選手がトップを維持していますが他の部門で変動が起きています。今後も、ますます目が離せません。

●クラブ別獲得ポイント

	1~8月	9~11月	12月	合計
山形	911	553		1464
青森	708	464		1172
群馬	552	484		1036
福島	—	844		844
岐阜	448	213		661
香川	530	40		570
札幌	441	98		539
島根	240	221		461
帯広	430	22		452
岩手	293	—		293
千葉	66	146		212
愛知	145	56		201
埼玉	83	58		141
仙台	99	—		99
大阪	76	16		92
栃木	66	—		66

●ラリー・ドライバー部門

鷲見 宏康	岐阜	188
渡辺 俊昭	山形	128
勅使川原 光	千葉	96
小林 正夫	群馬	70
対馬 雅人	青森	66
三谷 義和	千葉	62
嶋口 中也	青森	48
坂本 均	青森	44
中田 裕二	大阪	34
丹羽 浩道	千葉	34

●ラリー・ナビゲーター部門

佐藤 忠宜	福島	258
対馬 隆志	青森	106
今野 泰正	山形	98
朝岡 達也	愛知	86
金子 誠司	群馬	70
山崎 茂樹	青森	64
伴 英憲	青森	30
浅沼 高典	岩手	23
石田 隆雄	青森	20

●ダートトライアル部門

宝田 芳浩	札幌	260
高竹 優之	香川	200
榎田 正文	岐阜	192
荒井 信介	群馬	168
菅野 茂	山形	167
杉山 敏夫	山形	156
渡辺 康	山形	151
岩田 恒廣	群馬	126
佐藤 秀昭	福島	123
国谷 益雄	島根	104

●ジムカーナ部門

須田 行雄	福島	264
小館 久	青森	210
佐々木 聖太郎	青森	132
鈴木 正孝	福島	107
赤羽 政幸	山形	100
菅野 茂	福島	49
佐藤 宏昭	福島	43
久保田 徳	青森	40
古藤 浩美	島根	18
杉坂 啓一	島根	16

●レース部門

小川 日出生	山形	182
鈴木 一彦	山形	24
瀬在 仁志	埼玉	18
川口 法行	栃木	10
平井 みつよ	埼玉	4
吉沼 昭彦	栃木	2

●ポイントのつけ方

リタイアには予選不通過も含む

ポイント	A	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0	
B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0	

A = ラリー………全日本選手権、JMRC地区最上級シリーズ
スラローム……全日本スピード行事選手権、地方スピード行事選手権、JMRCシリーズ
レース………全日本選手権、地方選手権、ミラージュカップ
B = それ以外の競技会